

地域包括ケア「見える化」システムの活用について

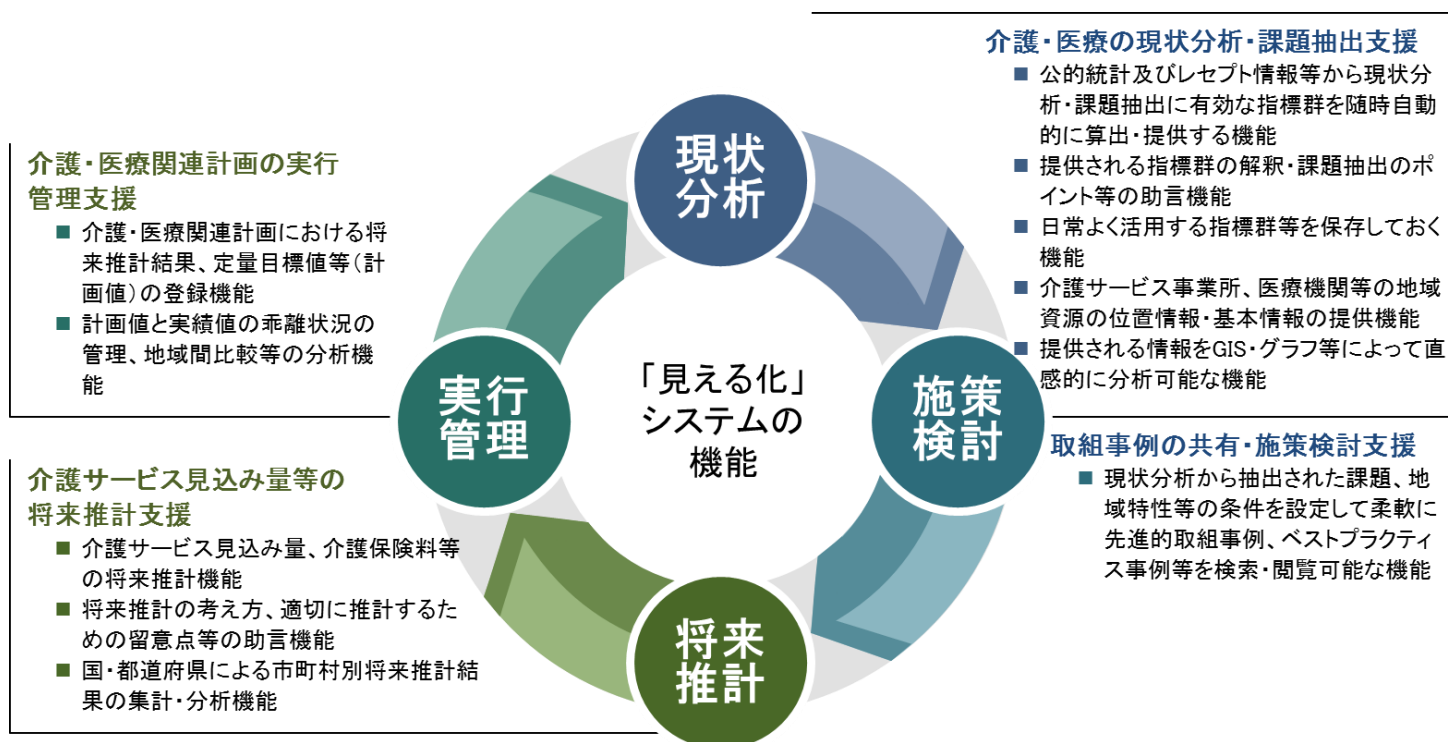
○地域包括ケア「見える化」システムとは

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業（支援）計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムです。介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が本システムに一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されます。

○地域包括ケア「見える化」システム利用の主な目的

- ・地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする。
- ・同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくする。
- ・都道府県・市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる。

○地域包括ケア「見える化」システムの機能



☆本システムでは、以下の内容についての分析や他自治体との比較等を行うことができます。

目的	区分	指標(抜粋)	ソース
現状分析	人口と世帯の状況	総人口、高齢化率、高齢独居世帯数(割合) 等	国勢調査等
	被保険者及び認定者数	第1号被保険者数、要介護認定者数(率)、性・年齢調整済み認定率 等	介護保険事業状況報告
	介護保険料	第1号保険料月額、必要保険料月額 等	介護保険総合DB
	介護保険サービスの利用状況	介護サービス受給者数(率)、第1号被保険者1人あたり給付月額、性・年齢調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額、受給者1人あたり給付月額、受給者1人あたり利用日数・回数 等	等
	医療	後期高齢者1人あたり医療費、受療率 等	後期高齢者医療事業状況報告、患者調査
	その他	リスク高齢者の割合、地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合、週1回以上の通いの場の参加率、介護人材の受給推計 等	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 等
	地域資源の状況	介護サービス施設・事業所、在宅医療を行う医療機関の位置情報 等	介護サービス情報公表医療機能情報提供制度病床機能報告制度
実行管理	被保険者及び認定者数	第1号被保険者数、要介護認定者数(率) 等	介護保険事業状況報告
	介護サービス見込み量	介護サービス利用者数、利用者1人1月当たり利用日数・回数	
	給付見込み・保険料	総給付費、保険料基準額 等	

☆具体例

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等を活用した分析

- ・社会参加の状況と各リスク該当者との相関関係
- ・世帯の状況(独居、夫婦のみ世帯等)による認知リスクや健康状態に関する傾向

■介護保険サービスの利用状況を活用した分析

- ・認定率、受給率、受給者1人あたりの受給費の比較
(県平均との比較、人口・高齢化率等同規模の他自治体との比較)

※ 事業所調査、利用者インタビューは、久留米市独自の調査のため、他自治体等との比較分析はできません。

※ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の市独自項目についても、他自治体との比較分析はできません。

(市独自項目)

- ・セーフコミュニティ関連(転倒予防、権利擁護、防災・避難)
- ・地域包括支援センター
- ・ゴミ出し